

生活支援体制整備事業第1層協議体 構成員所属団体活動状況(令和6年度)

参考資料1

団体名等	活動状況
一般社団法人 茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会	本会議での議題を踏まえ、引き続き当協議会としての活動を検討し活かしていきたいと考えております。 どうぞよろしくお願いいたします。
茅ヶ崎市介護予防ボランティア	コロナウィルスが5類となり、各介護予防教室も活気が出てきました。待ち望まれていたボランティア養成講座も、歌体操ボランティアは既に開催されており、高齢者支援リーダーは現在開講中で、フレイルセンターは来年開講予定です。実働できるボランティアの方が増え、微力ですが介護予防の手伝いが出来る事、各教室の新しい参加者が増えることを願っています。
社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会	市社協では、地区担当職員が第2層の地域支え合い推進員をあわせて担い、地区のみなさんとともに課題共有や、必要な活動に取り組んでいます。様々なつながりを広げていきたいと思いますので、お声かけください。
公益社団法人 茅ヶ崎市シルバー人材センター	1. 活動状況 当センターでは、健康寿命が伸びるなか、社会参加の意欲のある健康な高齢者に就業等の活動機会を提供することで、生きがいの充実及び福祉の増進を図っています。 そのため高齢者の能力を活かした活力ある地域づくりに寄与することを目的として、高齢者が地域で働く場や社会を支える活動ができる場を提供する事業を実施しています。 また、当センターの社会参加活動としては、市等の主催の海岸清掃への参加やシルバーの日の中央公園北側歩道部分の清掃活動などを行っています。 2. 課題 シルバー人材センターの会員数は、全国的に減少傾向にあるなかで、当センターも平成30年度の1,018人にピークに令和4年度には904人に減少しましたが、令和6年6月末現在の会員数は941名となっています。 課題としては、会員への就業機会の提供があります。コロナ禍で減少していた就業機会は徐々に増加していますが、より多くの会員に就業機会を提供できるよう受託・受注先を増やす取組みを行います。 また、労働環境の変化もあり、65歳まで働く企業等が増え、会員の平均年齢も5年度末現在75.2歳と高齢化が進んでいますので、高齢な会員でも就業できる就業先の開拓や、夏場の熱中症など会員が安全・安心して就業できる環境づくりの課題もあります。 さらに、植木剪定や除草など高齢者を支援する分野で就業する会員は減少傾向にあり、ニーズに十分に応えられないという課題もあります。それらの扱い手を増やすため、労働の対価である配分金単価の引き上げや職域班制度の試行などによる就業環境の整備などに引き続き取り組んでいます。
茅ヶ崎市地域包括支援センター 管理責任者会	高齢者等に対する総合相談支援業務、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント業務、地域ケア会議を開催し、多職種と連携し活動しています。また、認知症に対する総合的な支援を行っています。 市社協との情報共有の実感があまりないことが課題となっています。
茅ヶ崎市 地区社会福祉協議会連絡協議会	本会は、市内の13地区の地区社会福祉協議会の会長並びに副会長1名をもって組織、構成し、市社会福祉協議会と協力を密にし、より一層、地域住民の福祉向上を図ることを目的とし、 1. 社会福祉に関する調査・研究 2. 地区社会福祉協議会相互の福祉活動に関する連絡調査・情報交換 3. その他、目的達成のために必要な事業 を行っている。 具体的には、全員協議会(1回／年)、三役会議、会長会議(1回／2ヶ月)、研修会(1回／年)、行政との懇談会(1回／年)、視察研修(1回／年)を実施している。 構成員である、各地区社会福祉協議会は各地区において地域福祉の向上のため各種活動を行っている。
茅ヶ崎市 地区ボランティアセンター連絡会	地区VCは13地区で、同じ地区に暮らす人同士の支え合い活動に取り組んでいます。お手伝いを通じた地区内のつながりづくりや、仲間づくりにもなっています。 (地区VC R5活動実績) 登録者数: 643名(うちコーディネーター129名 ※兼務含む) 活動件数: 3,901件 活動時間: 11,075.75 時間
茅ヶ崎ボランティア連絡会	活動状況 ボラ連は現在13団体(うち1団体は休会中)で構成されており 聴覚障害関係グループが4、視覚関係関係 4、介護関係 3、その他 1 ボラ連としての活動は ・5月6日 ボランティア大学(社協と共に) ・11月 ボランティアまつり福祉バザー(社協と共に) ・3月7月11月 ボランティアたより 発行 ・11月 パネル展(イオン中央店) ・研修会 年に2回 ・2024年度から救命救急講習も復活(コロナでお休みしていました) ・ホームページの運営 課題は ①高齢化 …どのグループも役員選出に四苦八苦しているのが現状です。 ②ボランティア団体のPR不足を感じます。(これは地区ボラセンも感じていることかもしれません)
茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会	
茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会	活動状況 現在、市内の民生委員児童委員が「茅ヶ崎市在宅高齢者実態調査」の活動中です。市内4万弱の調査対象者の方を訪問調査しております。 75歳以上の高齢者宅を訪問する中で、様々な高齢者の実態を目の当たりにいたします。 今回の議題(1)にあります「買い物支援」に係る課題も、その必要性の大きさを実感しているところです。 特に、「買い物支援」は一律では解決できぬ、多様な形態の支援の必要性を感じております。「個のニーズに応じた支援」の必要性を求められていると思います。各地区の地区のボランティアセンターなどの活動も素晴らしい、また、民児委員も含め、隣近所の顔の見える関係の中でのサポートが機能していることも、気にすべき点だと思います。
茅ヶ崎市老人クラブ連合会	コロナ禍で中止の続いている老人クラブ連合会主催の生きがい交流会「きずな」を令和6年6月より再開した。 今後、毎月1回、月末の金曜日に開催予定。(場所:老人福祉センター3階大広間、時間:11:00~14:00)
特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき	●ちがさき市民活動サポートセンター事業(指定管理事業) ・ユースボランティア茅ヶ崎(茅ヶ崎市社会福祉協議会との共催事業) ユースボランティア茅ヶ崎とは、市内在住の中学生から大学生を対象に、夏休み期間を利用して各種ボランティア体験を通じた青少年健全育成事業。福祉(高齢者/障がい者)、保育、子ども、環境保全(海岸/里山)、地域安全、国際、社会教育など、様々な分野の活動団体が学生を受け入れ、ボランティア体験活動を実施します。今年度は、115名の生徒がオリエンテーションに参加し、7月20日(土)~9月7日(土)にかけて、2日間以上、それぞれの団体でボランティア活動を体験します。 ▼ボランティア体験先(順不同23カ所) ・生活リハビリクラブ茅ヶ崎 ・(社福)翔の会 萩園ケアセンター ・(社福)翔の会 湘南鬼瓦 ・(社福)翔の会 ブルーベリー ・(社福)翔の会 水平線 ・(社福)翔の会 入道雲 ・(特非)松の実会 みらま～る ・地区社協・地区ボランティアセンター ・NPO法人トムトムあいあいクラブ ・茅ヶ崎市社会福祉事業団つじ学園 ・NPO法人ちがさき学童保育の会 ・ほかほか保育園 ・わくわく保育士ボランティア ・NPO法人ワーコレянんぽっぽひろば たんぽぽはうす ・さきららぼし(子育ち応援する会) ・ちがほ～(茅ヶ崎に冒険あそび場をつくろう会) ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 ・茅ヶ崎里山公園倶楽部 ・ほのぼのビーチ茅ヶ崎 ・サーフ90 茅ヶ崎ライフセービングクラブ ・NPO法人湘南市民メディアネットワーク ・NPO法人WE21ジャパンちがさき ・認定NPO法人NPOサポートちがさき